平成２８年度　**第1学年 **学年通信 【第２号】2016. 4.28　　発行：宇都宮北高校第1学年

１．学年主任あいさつ

　本日は、平成２８年度ＰＴＡ総会へのご出席、ありがとうございます。お子様が本校に入学してから約１カ月。保護者の皆さまから見たお子様の様子は、いかがでしょうか？本日は授業参観から進路講話・クラス懇談会まで盛りだくさんの内容となっております。学校でのお子様の様子を見ていただくとともに、ご家庭でのお子様の様子も是非お聞かせください

**【**４月の様子】　　　　

　　入学式からの約１週間は行事の目白押しで、次から次へと指示が飛びあちらこちらへ動かされているといった状態だったと思います。新しい生活に費やす精神力や体力は予想以上に大きく、決して楽なものではないはずです。そのような中でも弱音を吐かず、右往左往しながらも新しいものや新しいことにチャレンジしようとする目は強かったように感じます。学年全体での部活動加入率も高いようです。**『文武両道』**を貫こうとする意欲が感じられます。新入生オリエンテーションで実施したスタディサポート（模擬試験）の結果も、個人結果表として返却されました。初めて目にした高校での模擬試験結果に、「春休み～遊びすぎた・・・」や「まじ・・・やべ～」等々の様々な反応が見られました。今回の模擬試験は、結果より模擬試験とは何かということを理解することが目的です。各自ができない教科や苦手な問題または不得意な分野などを知ることが目的です。これから何十回と実施していく模擬試験ごとに、できない問題や不得意感を減らしていくための**自主学習を積み重ねることが重要**だと知ることのほうが大切なのです。これこそが、大学入試のための受験勉強の土台となるのです。こんな話を聞かされている生徒たちは大変です。今は点数取れなくてもいいよ～という話には安堵感でいっぱいのまなざし、でもね！このあと何もしないと大学の受験生になれないよ～と話すと不安と決意の入り混じったまなざし。**目は口ほどに物を言う**とは、まさにこの様子だと感じます。**『打てば響く』**という状態のうちに日々の生活リズムのレベルアップをしてしまうことが大切だと考えます。まだ慣れていないから～とか、疲れているから可哀そう～と思ってやる気に蓋をしてしまうのは、逆に底力を持つお子様のレベルダウンにつながります。我々１学年スタッフ一同、大きな可能性を秘めて入学してきた３２１名の生徒たちの「フ・ツ・ウ・ニ～」と「ム・リ～」と考えてしまうその蓋を解き放つことに、現在活動中です。どうぞご家庭でも、やってごらん！と勇気づけて背中を押してあげてください。



　以前、たまたま目にした新聞記事が気になり再度目を通しました。いま様々なことにおいて、『変革』が求められています。子どもにだけ求められているものではなく、私たち大人にも『変革』が求められているのだと思います。参考までに、裏面に印刷してみました。ぜひ、ご一読ください。

大人も子どもも、まだまだ【工夫】が必要なようですね・・・一緒に、頑張りましょう！

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文責：第１学年主任　大島　真由美）